

2019年度 筑波大学 前期理系 第3問

問題 四面体 $OABC$ について、 $OA = OB = OC$ および $\angle AOB = \angle BOC = \angle COA$ が成り立つとする。

$0 < s < 1$, $0 < t < 1$ を満たす実数 s, t に対し、辺 OA を $s : 1 - s$ に内分する点を D とし、辺 OB を $t : 1 - t$ に内分する点を E とする。 $\overrightarrow{AF} = \overrightarrow{BG} = \overrightarrow{OC}$ となる点 F, G をとり、線分 EF と線分 DG が1点で交わるとし、その交点を P とする。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$, $\angle AOB = \theta$ とするとき、以下の問いに答えよ。

- (1) $t = s$ であることを示し、 \overrightarrow{OP} を $s, \vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて表せ。
- (2) $\overrightarrow{EF} \perp \overrightarrow{DG}$ であるとき、 $\cos \theta$ を s を用いて表せ。
- (3) $\overrightarrow{EF} \perp \overrightarrow{DG}$ かつ $\sqrt{3}OP = OA$ であるとき、 s の値を求めよ。

N_tsukuba2019A_03.pbm